

# ながさきのふくし

あなたと  
つながる  
長崎のまち



ふくめん：（社福）つかさ会 ノーブル 問 ふれあいショップ TEL：095-846-8022  
～おいしいは、しあわせのはじまり～ ふくめんは、こだわりの麺をとおしてお客様においしい「しあわせ」をお届けします

## Contents

**特集「県社協の明日 3年プラン」** …… P2  
**がスタートします**

新事務局長 就任挨拶

**社会福祉法人の地域貢献** …… P5

**共同募金** …… P6

**県社協 Topics&Information** …… P7

サマーボランティアキャンペーン参加者募集

県社協平成29年度決算報告/県社協平成30年度  
事業計画・予算/寄付お礼/県社協職員のひとりごと/  
研修・イベント/合同入職式/農福マルシェ/介護の  
しごと関連貸付案内/総合相談・生活支援研修会/  
民生委員制度創設100周年記念誌

**Pickup！社協 南島原市社協** …… P12

ハート♥お届け便/ながさきのふくしクイズ …… P12

# 県社協の明日 3年プラン

## 第4次 長崎県社協 地域福祉推進・基盤強化計画

### がスタートします

長崎県社協（以下、本会）では、昭和26年の設立以来、多くの方々から支えられながら、住民主体の地域組織・地域福祉活動の展開、普及に努めて参りました。社会保障・福祉制度改革や地域における複合的な生活・福祉課題の深刻化を踏まえ、社会的使命をいかに果たしていくのかが、今改めて問われていると考えています。

このようなか、平成30年4月、「県社協の明日 3年プラン」第4次長崎県社協地域福祉推進・基盤強化計画（以下、本計画）を策定しました。

#### ◆策定の背景と特徴

本会では、平成10年4月に「長崎県社協基盤強化・活動中長期計画」を策定し、その後、「改訂版」「第2次計画」「第3次計画」と一貫して地域福祉の推進に積極的に取り組んできました。本計画は、これまでの計画の基本理念を引き継いだ上で、本会が今後取り組むべき事業の方向性を示したものです。

策定にあたり、本会理事、評議員及び学識経験者等による策定委員会を設置。委員長に長崎ウエスレヤン

大学教授（県社協理事）の中野伸彦氏を選任し、協議を進めました。

策定委員会では、主に4つの方針を定め作業を進めました。

①計画期間を3年と短縮。数値目標を設定しメリハリをもった構成とする

②本計画を本会の目指す方向を内外に示す機会とするため、効果的なPR活用を意識した体裁とする

③外部関係者や事務局職員等関係者の思いや期待を生かす内容とする

④広く多くの皆様の手に取りやすく読みやすい紙面構成を工夫する

冊子タイトルは、「県社協の明日 3年プラン」と新たにしました。本会設立から67年。今後さらに期待が大きくなる地域福祉推進に、また多様化・複雑化する生活・福祉課題に、本会が何をなすべきなのか。そして何ができるのか。本計画の策定協議を進める中で、社会的使命を全うするということを決意を固めると同時に、現在、本会が置かれる様々な限界も浮き彫りとなったからこそ、「明日（あした）」というタイトルに、本計画の理念を重ねたものです。

#### 新・事務局長就任挨拶 岩本和夫



この4月、長崎県社協の事務局長になった岩本と申します。

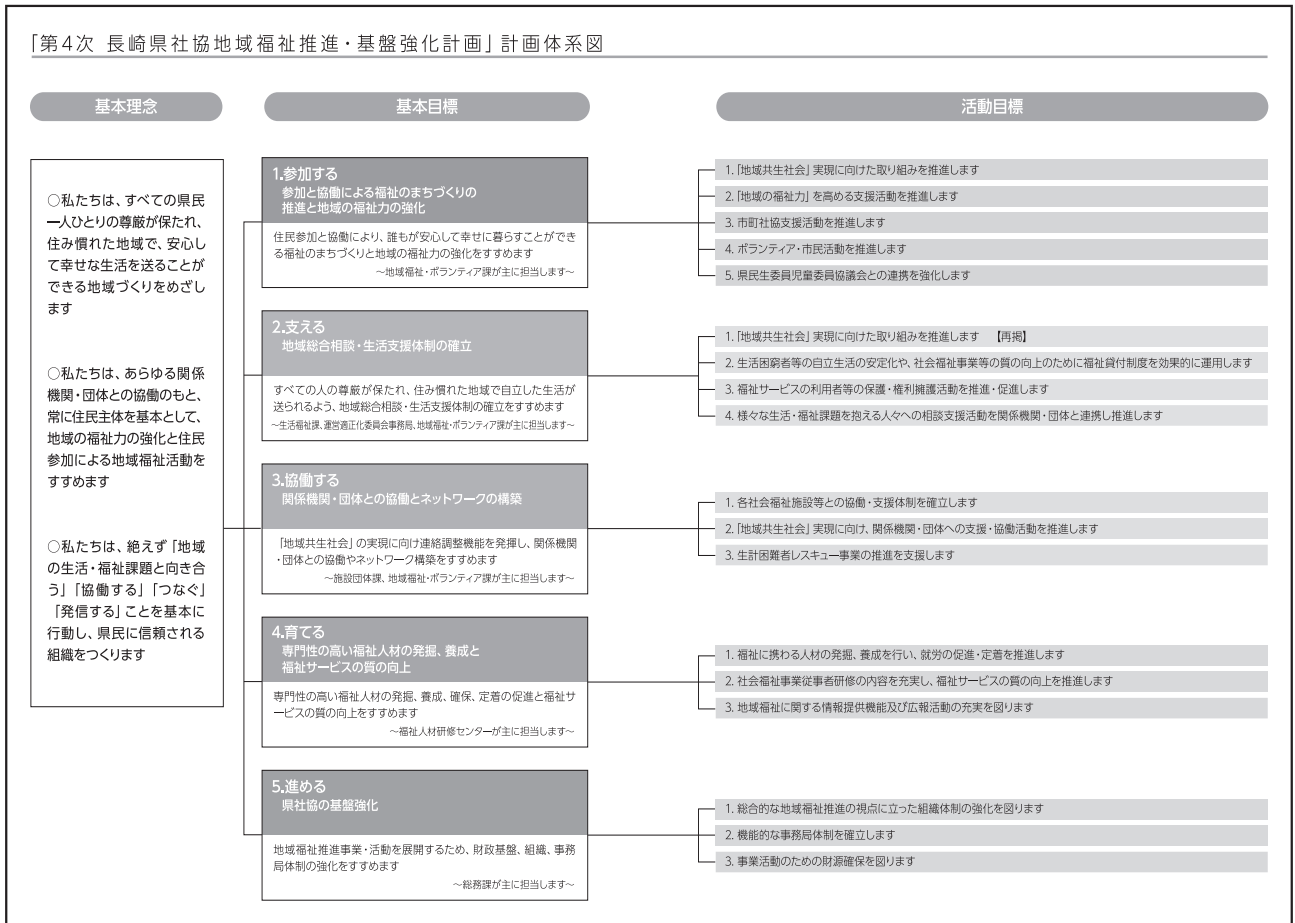
多数いた職場の先輩たちが一人ずつ退職していき、気付けば職員は、私より若い人が殆どになりました。

ところで、県社協の業務は多岐に亘っています。福祉の仕事の求人求職、研修会の開催、福祉情報の発信、資金貸付、社会福祉施設協議会・民生委員児童委員協議会・社会福祉協議会連絡協議会等の事務局、総合福祉センターの運営管理、地域福祉・ボランティア活動の推進、等々。

とりわけ地域福祉の推進については、国や自治体が福祉のあり方の見直しを進めています。複雑化した課題を抱える個人や世帯に対する支援や既存の方法による対応が困難な問題の解決を図ろうと、これまで以上に住民が互いに支える地域づくりに取り組める仕組みや、人々の繋がりが合う気持ちの高まりが大事な点です。長崎県社協も私も出来ることは何かをよく考え、力を尽くしてまいります。何卒、よろしくお願い申し上げます。



「第4次 長崎県社協地域福祉推進・基盤強化計画」計画体系図



なお本計画は、本会における地域福祉活動の総合的な推進のための「行動（活動）計画」として位置づけるとともに、「発展強化計画」の性格を有しています。

◆本会が取り組むこと

本計画では、3つの基本理念、それらを実現するための5つの基本目標と全18項目の活動目標を整理し、計画体系図としてまとめました（上図）。さらに、それらを具体的かつ効果的に推進するための実施計画を、活動目標ごとに立て、また、その成果や効果がより具体的にイメージできる指標を掲げることが適切な事業項目については「重点項目」とし、事業見直しもしくは事務効率化項目を含めた数値目標を設定しました。

ここでは、これら実施計画のうち3点についてお示しします。

**基本目標1 参加する** より  
参加と協働による福祉のまちづくりの推進と地域の福祉力の強化

活動目標とする「地域共生社会」

実現に向けた取り組み推進を実現するため、地域総合相談・生活支援体制「長崎モデル」構築事業（仮称）を実施します。

これは、研究研修会の開催やモデル地区指定事業の実施を通じて、県内の様々な地域において、その特性を活かしつつ何をポイントにすればよりよい「地域共生社会」実現につながるのかを調査研究する事業です。

実務者向けの「必携」作成等を数値目標として、具体的な事業提案を行いたいと考えています。

**基本目標2 支える** より  
地域総合相談・生活支援体制の確立

日常生活自立支援事業の利用者や利用希望者が増加する中、成年後見制度等への移行支援やその支援体制確保が緊急の課題となっています。

そこで、福祉サービス利用者の保護・権利擁護活動推進・促進を活動目標に、県内市町社協における成年後見事業の促進を進めたいと考えています。

数値目標としては、法人後見実施社協増、県内市民後見人受任件数増

を設定し、連絡会議の開催やニーズ調査、専門員養成研修の実施等を通じて、支援体制を強化していきます。

**基本目標5 進める** より  
**県社協の基盤強化**

地域福祉推進組織として、安定した財政基盤の確保は不可欠です。本会では、厳しい経営状況の中「経営健全化計画」の策定推進など工夫を重ねてきました。

本計画では、経営の健全化対策、特に自主財源の見直し増強の一環として、長崎県総合福祉センターの修繕・活用計画の策定を進めます。

昭和56年に建設された当センターは長崎県の福祉活動の拠点としての役割もあり、多くの社会福祉関係者の皆様を中心に活用されている一方で、老朽化により修繕費が年々高んでいる実態があります。センター運営の健全化について、中長期的な視点で検討を進めていきます。

社会福祉法に謳う県社協の使命を果たすとともに、時代の変化、社会・経済状況の変化を踏まえた「連携・協働の地域づくり」を実現するた

め、本会が取り組みたいと考える事業は際限ありません。しかし、本会を取り巻く社会背景や課題分析を元に、限られた人員・財源の中で、より緊急的に進めなければならぬものに優先順位を付けつつ、机上の空論に終わらないよう、今やるべき方向性について協議を重ねた結果を、本計画としてお示しました。

なお、具体的な事業内容は、各年度に作成する事業計画にて補完することで、より柔軟かつ実効性の高い事業推進を行います。

◆**今後の展開**

本計画では、ひとりでも多くの方に本会の事業についてご理解をいただき、長崎県の地域福祉推進の後押しをいただくために、「見える化」を意識した構成を心掛けました。そこで、本計画完成後は、本会ホームページに内容を掲載するとともに、概要版を作成し、いつでもご自由に、そして気軽にご覧いただけるようになります。

また、本計画が本来の目的を果たすよう、評価委員会を設置し外部評価を実施。あわせて、内部では、県

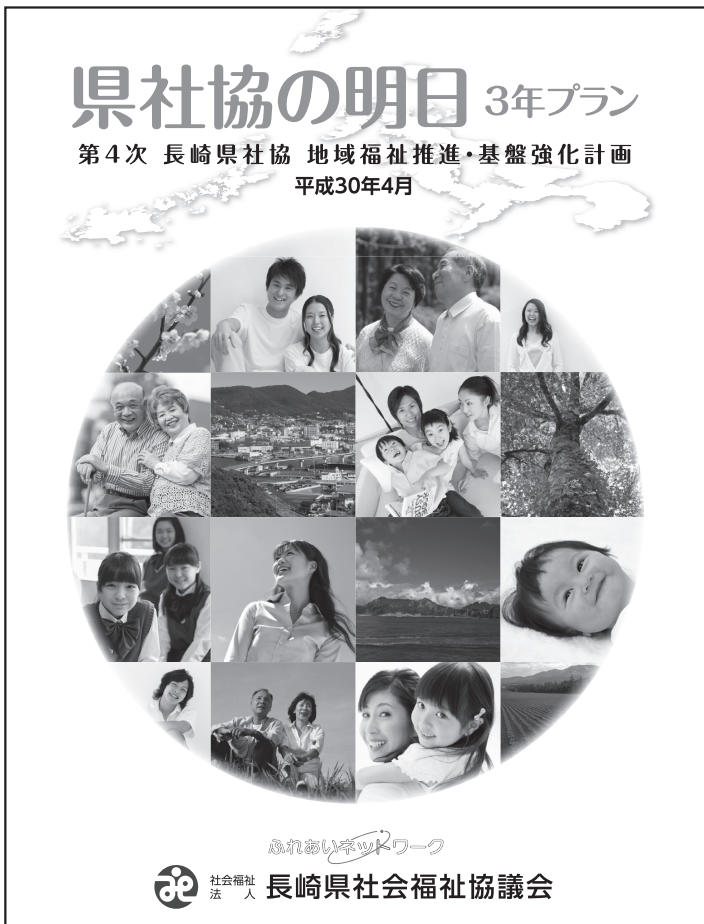
社協地域福祉推進マネージャーを中心に、事務局全体で年度ごとに評価し、推進していきます。

◆**おわりに**

本計画冊子表紙(左図)には、長崎県全体の地図とともに、計21名の方の笑顔を投稿しました。これは、県内21市町に暮らす県民ひとり一人の笑顔を支えたい、という思いを表しています。

本会は、本計画を具現化していくことをもって、「すべての県民一人ひとりの尊厳が保たれ、住み慣れた地域で、安心して幸せな生活を送ることが出来る地域づくり」をめざして参ります。

今後とも県民の皆様をはじめ、県、市町、市町社会福祉協議会、社会福祉施設、民生委員児童委員、NPO法人、ボランティア団体等関係機関、団体の皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。





**第3回**  
**社会福祉法人 白寿会**  
**アメニティいわど**  
 お話し：施設長 久間雅文さん

平成26年に南島原市加津佐町で最初のユニット型施設として開設された地域密着型特別養護老人ホームアメニティいわどは、開設当初から多彩な地域貢献活動を展開しています。

**【誰でも来れる「おもちゃ図書館」】**  
 施設内のスペースに木製のおもちゃを置いて、誰でも来ることができ「おもちゃ図書館」として開放しており、町外の方も含め、これまでに3,000人以上の方々が施設を訪れています。

驚くのは、このスペースが9時から19時まで毎日開館されていること。「施設職員が担当として付くことはありません。準備や片付けなどは、利用される方が自身でされているから毎日開館できるんです」（久間氏）  
 それでもこれまで事故等はなく、かえって自主性が育まれているようです。

「おもちゃ図書館」には、親子のほか町内の保育園児、近隣の障がい者施設利用者も訪れ、施設入居者との交流も自然に生まれており、入居



毎日開館されているおもちゃ図書館

者の刺激にもなっているといえます。利用者のお一人が、「おもちゃ図書館」をはじめとした施設の取組に惹かれ施設の職員になるという、思いがけない効果にもつながりました。

**【機能訓練室を開放】**  
 入居者が訓練を行う機能訓練室を、トレーニングルームとして地域の方々に開放しています。こちらも毎日9時から21時まで解放されており、中学生から大人までいろんな方が利用されています。

中学生が雨天時の部活動の場所としても頻繁に利用しており、彼らにとっては高齢者施設が「行ったことのない場所」でなくなったことか

ら、「自分の就職先の一つとして当施設を考えています」という声も聞かれるとのこと。それが実現する日は遠くないかもしれません。

**【その人らしい暮らしを目指すケア】**

高齢者に人生を楽しんでもらうためには身体面だけでなく心の栄養も必要です。その支援には手工芸や音楽などの「芸術文化活動」、体操やゲームを交えた「遊び文化活動」、花見や散歩などの「気晴らし・外出活動」などのアクティビティを一人ひとりの生活文化を大切にしながら重ねていくことが求められます。そのためスキルを身につけるための「アクティビティ・インストラクター資格認定セミナー」を毎年開催しています。当施設職員だけでなく、県内外から多くの介護職、作業療法士、看護職等が受講し、これまでの受講者は300人を超えます。

スキルを身につけた当施設職員が各ユニットで個別のケアを実践し、年1回ユニット対抗でアクティビティコンテストが行われており、他のユニットのアクティビティを取り入れさらに工夫するなどして、施設全体で「その人らしい暮らし」をサポートしています。



ユニットごとに実施されるランチアクティビティ。「趣味を活かしてるんです」と久間施設長

活動の一つ、作物づくりで収穫した野菜を入所者が皮むきなどの下準備をし、施設長がユニット内のキッチンで腕を振るう「ランチアクティビティ」も実施されています。

「作っている匂いがする」のがポイントで、さらに「コース料理のように一品ずつ出すことでもいつもは食が細い方も完食できました。通常の食事場面での工夫につながりました」（久間氏）

**【点と点から線に】**

「今、地域の方と入所者の繋がりは点と点。名前を呼び合えるような『線』に繋がりたいですね」（久間氏）  
 法人の基本理念「地域社会に信頼される福祉」を具現化する活動のこれから展開が期待されます。

第71回共同募金運動が終了しました

皆様のあたたかいご支援とご協力に感謝いたします

昨年71回を迎えた共同募金運動は、「じぶんの町を良くするしくみ」をメインテーマに10月1日から半年間にわたり全国一斉に運動が展開され、本県においても県民の皆様方の温かいご支援、ご協力に支えられて、無事運動を終了いたしました。運動期間中は、各ご家庭をはじめ、小・中・高等学校や企業など多



昨年の街頭募金のようす

事業費、社会課題の解決や地域の福祉課題に取り組むNPO、ボランティア団体への事業費、保育所などの福祉施設整備や備品購入費、福祉車両「赤い羽根号」の整備費、また地震等大規模災害発生時のボランティア活動を支えるための資金として総額120,187,000円の助成が決定しました。

共同募金運動の一環として昨年12月に実施した「歳末たすけあい募金」には、総額44,351,054円のご寄付をいただきました。

このうち、市町で実施しました「歳

くの方々から沢山の協力をお願いいただきましたことに対し、深く感謝いたします。

10月から実施した「赤い羽根募金」には、総額で165,391,046円のご寄付をいただき、配分委員会の審議を経たのち、長崎県共同募金会の理事会、評議員会の承認を得て、市町社協が行う高齢者ふれあいサロ事業など地域福祉

末たすけあい」に寄せられた募金は、社協へ総額35,157,377円の助成が決定し、それぞれの市町で支援を必要とされる方々への年末見舞金等に有効に活用されました。

また、「NHK歳末たすけあい・長崎新聞社歳末たすけあい」に寄せられた募金は、児童養護施設卒業生に対する就職・進学支度金、送迎用福祉車両「歳末たすけあい号」等へ総額5,649,000円の助成が決定しました。



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



社会福祉法人

長崎県共同募金会

〒852-8104 長崎市茂里町3-24

☎ 095-846-8682 fax 095-846-8565

E-mail: kyobo@akaihane-nagasaki.or.jp

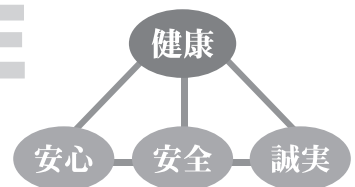
HP: http://www.akaihane-nagasaki.or.jp

HEALTH & QUALITY LIFE  
明るく健康な未来に向けて

すべては「健康」のために・・・私たちは誠意と熱意で応えます。



お客さまのニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。



<事業内容>

医薬品、防疫薬品、医薬部外品、化粧品  
健康食品、健康関連用品の取り扱い。

大日商事株式会社

TEL (06)6952-7015

FAX (06)6952-7137 大阪市旭区大宮4丁目18番18号  
東京営業所 東京都大田区西蒲田7-4-3-406 TEL(03)-5713-0381





サマーボランティア・  
キャンペーン2018



ボランティア参加者募集

毎年、県内各地で新しい出会いが生まれる夏のボランティア体験。

昨年度は402の体験プログラムに、延べ3,258人が参加、多くの交流が生まれました。

このキャンペーンは、子どもから大人まで誰もが気軽にボランティア活動に参加できるよう、ボランティア体験期間(7月1日から9月30日)に、活動のきっかけを提供することで、県民のボランティア活動への理解を深めることを目的としています。

「ボランティア活動をやってみたい」「方や、仕事の合間に活動したい」という方にもお勧めです。

なお、2力所以上活動された方には、オリジナルグッズをプレゼントいたしますので、ぜひご参加ください。

県社協への体験申込・ボランティア活動保険の加入手続き等は、これまで出島交流会館5階で取り扱っていましたが、平成30年4月1日より下記の「長崎県総合福祉センター2階」に変更となりました。

【体験期間】 7月1日から9月30日の間で、受入施設・団体等の定める期間

【体験場所】 県内の社会福祉施設・NPO・ボランティア団体・企業等

【参加対象】 ボランティア活動に参加したい方

【体験内容】

①施設利用者とのふれあいや、介助等のお手伝い

②施設行事への参加、協力による利用者とのふれあい

③NPOやボランティア団体、企業等が行う活動への参加

【留意点】

○経費：ボランティア体験活動の諸経費(ボランティア活動保険料、活動場所までの交通費、昼食費用等)は、参加者が負担。

○体験の申込：ボランティア体験希望者は、県内の各市町社会福祉協議会へ随時お申し込みください。

問 長崎県社協

地域福祉・ボランティア課

長崎市茂里町3番24号

長崎県総合福祉センター2階

095-846-8618(直通)

※土日祝日は休み

または、各市町社会福祉協議会へ

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成30年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	1,400万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金(特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
天災タイプ(※)			500円	710円
<small>(基本タイプ+地震・噴火・津波)</small>				

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK17-16970 2018.1.9作成)

## 平成29年度 長崎県社会福祉協議会決算報告

●法人単位（一般会計）

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	H30年3月期	H29年3月期	増減率	科 目	H30年3月期	H29年3月期	増減率
流動資産	1,163,105	1,504,222	77.3%	流動負債	66,473	88,037	75.5%
固定資産	1,788,718	1,534,800	116.5%	固定負債	256,674	279,515	91.8%
				基本金	154,420	154,420	100.0%
				基金	823,791	851,563	96.7%
				積立金	1,352,486	1,372,115	98.6%
				その他の積立金	175,646	165,436	106.2%
				次期繰越活動収支差額	122,333	127,936	95.6%
資産合計	2,951,823	3,039,022	97.1%	負債・純資産計	2,951,823	3,039,022	97.1%

事業活動収支計算書

(単位：千円)

科 目	H30年3月期	H29年3月期	増減率
サービス活動収益	372,668	370,810	100.5%
サービス活動外収益	12,008	93,902	12.8%
特別収益	37,484	1,063,936	3.5%
収益合計	422,160	1,528,648	27.6%
サービス活動費用	411,745	718,748	57.3%
サービス活動外費用	359	81,470	0.4%
特別費用	36,579	1,063,469	3.4%
費用合計	448,683	1,863,687	24.1%
当期活動増減差額	-26,523	-335,039	7.9%
前期繰越活動増減差額	127,936	206,491	62.0%
基本金取崩額	0	0	-
基金取崩額	31,129	259,697	12.0%
その他の積立金取崩額	4,966	6,742	73.7%
その他の積立金積立額	15,176	9,955	152.4%
次期繰越活動増減差額	122,332	127,936	95.6%

資金収支計算書

(単位：千円)

科 目	H30年3月期	H29年3月期	増減率
事業活動収入	397,425	396,712	100.2%
施設整備等収入	310	620	50.0%
その他の活動収入	168,159	1,331,541	12.6%
収入合計	565,894	1,728,873	32.7%
事業活動支出	722,326	503,176	143.6%
施設整備等支出	1,518	11,327	13.4%
その他の活動支出	167,286	319,969	52.3%
支出合計	891,130	834,472	106.8%
当期収支差額	-325,236	894,401	-36.4%
前期支払資金残高	1,448,636	554,235	261.4%
当期末支払資金残高	1,123,400	1,448,636	77.5%

●その他の特別会計

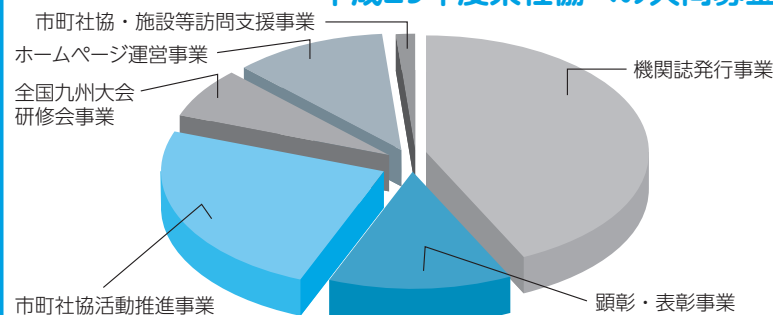
収支計算書

(単位：千円)

科 目	H30年3月期	H29年3月期	増減率	科 目	H30年3月期	H29年3月期	増減率
生活福祉資金特別会計				要保護不動産生活支援資金特別会計			
収入	2,145,972	2,207,397	-2.8%	収入	252,924	259,601	-2.6%
支出	477,471	423,157	12.8%	支出	6,204	8,987	-31.0%
繰越金	1,668,501	1,784,240	-6.5%	繰越金	246,720	250,614	-1.6%
生活福祉資金貸付事務費特別会計				臨時特例つなぎ資金特別会計			
収入	128,101	134,964	-5.1%	収入	38,990	43,187	-9.7%
支出	106,700	105,269	1.4%	支出	4,682	4,249	10.2%
繰越金	21,401	29,695	-27.9%	繰越金	34,308	38,938	-11.9%

### 平成29年度県社協への共同募金配分金の使途

(単位：円)



使 途 内 容	金 額
機関誌発行事業	2,143,576
顕彰・表彰事業	671,237
市町社協活動推進事業	1,222,247
全国九州大会研修会	349,848
ホームページ運営事業	558,812
市町社協・施設等訪問支援事業	60,480
計	5,006,200



平成30年度県社協事業計画

「第四次長崎県社協地域福祉推進・基盤強化計画」や「長崎県版社協・生活支援活動強化方針」に基づき、「つなぐ力」、「支援する力」、「発信する力」、「解決する力」、「提言する力」をさらに強化します。また、本会の社会的使命と責任である福祉社会の実現に向け『地域の福祉力』の強化を図るとともに、地域福祉の担い手としてそれぞれの役割を果たしながら県民が安心して暮らし、自らの生命の尊厳が実感できる福祉社会の実現を目指します。

(重点事項)

1. 第4次長崎県社協地域福祉推進・基盤強化計画及び長崎県版社協・生活支援活動強化方針の着実な推進
2. 市町村協における「地域の福祉・生活課題解決」のための諸活動の支援
3. 「生活困窮者自立支援事業」の支援及び社会福祉法人等との連携による「生計困難者レスキュー事業」推進支援
4. 住民相互で支え合う地域づくりのためのNPO・ボランティア活動の促進

平成30年度当初予算

※生活福祉資金等特別会計収支を除く

5. 日常生活自立支援事業、苦情解決事業等、福祉サービス利用者保護・支援の強化推進
6. 生活福祉資金や新たな貸付事業等の適正な制度運用と積極的活用
7. 専門性の高い福祉人材の発掘・養成・確保・定着化の推進
8. 民生委員・児童委員活動の充実強化の支援

収入

科目	予算額
会費・寄付金	24,850
分担金・負担金	33,300
補助金・助成金・受託金	209,338
事業収入・その他	190,627
配分金	0
受取利息・積立金取崩	13,355
前期繰越金	1,136,135
収入合計	1,607,605

支出

(単位：千円)	
科目	予算額
運営事務費	220,379
事業費	619,511
分担金・負担金・助成金	28,869
借入金返済金	11,564
積立金	31,333
予備費	0
次期繰越金	695,949
支出合計	1,607,605

ご寄付ありがとうございます

住友生命保険相互会社  
長崎支社 様



株式会社タビックスジャパン  
西九州支店 様



株式会社サンテックス 様

伊東 勇輝 様

「寄付に関するお問い合わせ」

長崎県社協 総務課

095-846-8600

県社協職員の一しりごと

働き始めて5年目になった。今回第3次県社協計画が実施最終年度を迎え、第4次県社協計画作業委員として策定に関わった。複雑化する生活・福祉課題に対して何ができるのか改めて考えるきっかけとなった。4年間を振り返ると、県内外で多くの福祉関係者の方々に出会い刺激を受けた。今後、課題解決の糸口となるような情報提供や人と人をつなぐ人になることを意識していきたい。(古賀大雄)



研修・イベント

- 福祉・介護の就職合同面談会〈夏〉 6/16(土)  
会場 長崎県総合福祉センター  
問 県社協 福祉人材研修センター
- 平成30年度社会福祉施設・地域福祉推進組織連絡会議 7/24(火)  
会場 県庁会議室  
問 県社協 地域福祉・ボランティア課
- 九州ブロック地域福祉研究会議 9/6(木)・7(金)  
会場 ヒルトン福岡シーホーク  
問 県社協 地域福祉・ボランティア課

福祉・介護事業所合同入職式

4月27日

合同入職式は、離職率が高いと言われる福祉・介護事業所において、職場の内外における仲間づくりによる定着率向上を目的としています。

式典では、新入職員代表から誓いの言葉が述べられるなど、皆さんの仕事へ対する熱い気持ち伝わってききました。



新入職員代表誓いの言葉

参加された新入職員の方たちは、最初は緊張の面持ちでしたが、最後のグループワークを終える頃には、あちこちで満面の笑みがこぼれ、素敵な仲間が誕生していました。



笑顔あふれるグループワーク

農福連携 マルシェ開催

近年、人口減少や高齢化が進行する中で、福祉と農業が連携する「農福連携」の取組が各地で盛んになっています。

この「農福連携」は、農業従事者の減少や耕作放棄地の増加などの課題に対して、障害者が農業に関わることで生産や担い手を補い、また、障害者の就労の機会確保と収入の向上につながることも、障害者の社会参加、地域コミュニティを育む取組みとして注目されており、2月28日(水)～3月2日(金)の3日間、長崎県が県授産施設協議会への委託事業としてJR長崎駅前かもめ広場で「農福連携マルシェ」を開催しました。

会場では、障害者就労支援施設40事業所の利用者や職員が、農産物だけではなく農業製品を原料とした加工品や工芸品、また普段から社会就労のために製作している様々な品を展示・販売しました。焼き芋や野菜スープ、うどん、おにぎり等の販売とイトイコーナーも設置され、多く



の方が商品を手にとって品定めをしたり、その場で味わったり、レシピを尋ねたりと事業所の方々の情報交換を行う姿が見られました。

3日間の短い開催ではありましたが、まだ寒さが残る中、約3,000名が来場し、「農福連携の取組」と、障害者の社会参加・就労支援への理解促進、さらには商品を販売することによる利用者の自信や達成感の醸成を得ることができました。

本事業は、平成30年度も実施予定であるとともに、全国規模のバザーの開催計画も進んでおり、今後事業の推進・拡大が期待されます。

自動車共済 MAP (任意保険)

福祉にかかわる皆様だけの お得な割引制度

共済制度のメリット

- 非営利の共済制度
- 節約型のお得な掛金
- 早くて親切な事故処理
- 他保険会社等からの切替でも安心
  - ノンフリート等級(無事故割引等)、フリート優良割引などはそのまま引き継げます。

- 1 福祉車両割引 3%
  - 消費税非課税措置の対象となる福祉車両の契約の場合。
- 2 障害者割引 10%
  - ご本人(記名被共済者)、配偶者、同居のご親族のどなたかが障害者の認定を受けているご家庭の契約の場合。
- 3 福祉施設割引 10%
  - 社会福祉施設が所有・使用する自動車の契約の場合。
- 4 福祉施設職員割引 5%
  - 社会福祉施設に勤務する役員・従業員の契約の場合。



長崎県火災共済協同組合

長崎市桜町4-1 商工会館8F  
TEL 095-822-9695



介護のしごとに復帰される方・介護福祉士を目指す方を応援します！

■離職介護人材再就職準備金貸付

【貸付対象】 県内に住民登録している方で、介護職員としての経験が1年以上あること、所定の資格があること、平成30年度以降に県内の介護職場に介護職員として再就職した方、直近の介護職員としての離職日から1年以上の期間があいていること、福祉人材センター又は福祉人材バンクに求職登録をしていること。

【募集期間】 平成31年2月末まで

【貸付額】 20万円以内 【貸付利子】 無利子

【その他】 利用は1人1回まで／連帯保証人が1名必要／長崎県内の介護職場で、2年間介護業務に従事した場合は返還免除

■介護福祉士実務者研修受講資金貸付

【貸付対象者】

1. 県内で介護業務に従事しており、これから介護福祉士登録を目指し、登録後も介護業務に従事しようとする方
2. 県内の実務者研修施設で研修を受講している方（受講済みは対象になりません）

【募集期間】 平成31年2月末まで

【募集人数】 350人程度

【貸付額】 20万円以内 【貸付利子】 無利子

【その他】 利用回数は1人1回まで／連帯保証人が1名必要／介護福祉士登録後県内の介護職場で、2年間介護業務に従事した場合は返還免除

貸付申請は従事する介護事業所を通じてお申し込みください。貸付後は介護業務に従事することを証明する書類の提出など定期的な報告、住所変更の場合などの随時報告などが必要です。申請書は県社協のホームページからダウンロードできます。

問 長崎県社協 生活福祉課 介護貸付担当

095-894-4027 (直通)

地域における総合相談・生活支援研修会開催

生活問題の早期発見を目指した総合相談のあり方や、地域における個別生活支援の専門知識・技術を、演習を中心とした2日間のプログラムで学びます。

【1日目 (7月9日)】 13:30～

■講義：地域を基盤とした総合相談・生活支援

■演習：地域を基盤として生活支援を事業の枠を超えてトータルに行うには？

【2日目 (7月10日)】

■事業説明：生計困難者レスキュー事業

■グループ討議・事例検討・体験！体感！する事例検討・本人理解による支援検討

【会場】 長崎タフシー会館

【講師】 淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科准教授

山下興一郎氏

事例も募集中。参加者主体で検討し、助言をいただくチャンスです！

問 長崎県社協

地域福祉・ボランティア課

095-846-8618 (直通)

民生委員制度創設100周年記念誌完成！

長崎県民生委員児童委員協議会では、民生委員制度創設100周年記念事業の1つとして、記念誌を作成しました。

記念誌には、県内176の単位民生協の活動を紹介しており、民生委員・児童委員の今後の活動につながる内容となっております。



問 長崎県社協

地域福祉・ボランティア課

095-846-8618 (直通)

## Pickup! 社協 南島原市社協

### 障がい者支援施設と協働した 墓地清掃管理サービス

このサービスは、南島原市から離れて暮らす方や、近くに住んでいても高齢等のため墓まで行けない方に代わって墓の清掃や供花を代行するサービスです。

スタート前に、同様のサービスを実施している社協を視察、その後「社協の介護事業利用者にお墓の管理のことを尋ねると、今は自分や家族でできている方からも『今後に不安を感じる』という声が多く聞かれました」（同社協地域福祉課江川課長）

そこで、社協から市内障がい者支援施設に声をかけ、集まった施設を対象に石材店による講習会を行った結果、6つの施設と協働して事業を行うことになりました。



ワイヤーブラシを片手に水をかけながら、墓に傷をつけないように丁寧に丹念に汚れを擦り落とします

社協で申し込みを受け、職員が墓地を現地確認、現地写真とサービス内容を申込者に確認してもらい契約を締結、料金の支払い（前払い）を受けてから作業を実施します。

作業は施設利用者と職員、社協職員が一緒に行います。作業を行っている施設では、移動中や現地で全員で行う作業会議で、利用者から「こがんだ道具が欲しいか」「あがんなつたら（水を）流そう」など自ら行いたいような作業の提案があるとのこと。

施設の一つ、早崎ステーションの竹馬さんに伺うと「他者の作業進捗状況や汚れの落ち方を見て手伝ったりに頼んだりして相互協力すること、おのずと苦手な作業・場所が発見でき学ばれているよう。作業でワタワタのほずが、社協職員から褒められたり、達成感・安堵感があることで、働く喜び・チャレンジ精神も芽生えるようで、笑顔で『次はいつね?』と催促されます」とのこと。平成29年度の契約は22件、26基の墓を36回清掃しました。「県外にもPRしてサービス利用者の拡大を図り、サービスの担い手として生活困窮者自立支援事業にもつなげることができれば」（江川課長）と、これからの展開が期待されます。

## ながさきのふくクイズ

第4次 県社協 地域福祉推進・基盤強化計画「県社協の明日 ●年プラン」の表紙には、■名の笑顔が掲載されています。

特集記事をヒントに、●と■に入る数字をお答えください。

正解者の中から抽選で3名様に、(社福)つかさ会ノーブルの「ふくめん」をプレゼント。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

### 応募方法

はがきにクイズの答えと①住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、業種②本誌に対するご意見・ご感想・ご要望をご記入の上、下記までご応募ください。

締切：平成30年6月29日(金)

### 宛先

〒852-8555 長崎市茂里町3-24  
長崎県社会福祉協議会  
「ながさきのふくクイズ係」

- ◇ ご記入の個人情報は適切に管理し、目的以外に使用しません。
- ◇ 本誌に対するご意見・ご感想・ご要望の一部は、「読者のお便り」に掲載させていただく場合もあります。



長崎県内の福祉施設・事業所の素敵な商品・サービスを紹介します。

### ふくめん (そうめん・うどんなど麺各種) (福)つかさ会 ノーブル

良質な小麦粉、名水百選に指定されている雲仙の湧水を使用したこだわりの麺。

夏にぴったりの手延べそうめん・手延べうどんは、プレーンなものから黒ごま、梅、柚子、ほうれん草、カレーのそれぞれが練りこまれたものまで、目にもおいしい

一品です。(表紙もご覧ください)

そうめん・うどんとも、2人前入り300円～500円。

各種そうめんとあごだしめんつゆの「プチふくめんセット」1,600円も大人気!



お問い合わせは「ふれあいショップ」へ

☎ 095-846-8022



### vol.4 への読者のお便り

・おひなさまの表情・子どもたちの笑顔と優しい色に気持ちがやさしくなりました。  
・地域共生社会、実現出来たら素敵な地域社会になるでしょうね。「強制」される事なくですが…